



2024年7月30日

各 位

会 社 名 モロゾフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 信二
(コード番号 2217 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 経営統括本部長 磯野 健治
(TEL. 078-822-5000)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年7月30日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状認識と分析

2024年1月期の指標は、ROE 8.96%、PBR 1.42倍となっております。

当社のROEの水準は株主資本コストを上回っており、エクイティスプレッドは確保されています。これは事業の収益力を安定的に高めてきた結果であると分析しており、PBRも1倍を上回り、上昇傾向にあります。

【連結経営指標】

	2023年1月期	2024年1月期
売上高(百万円)	32,505	34,933
営業利益(百万円)	2,423	2,474
経常利益(百万円)	2,615	2,517
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,703	1,715
ROE(%)	9.17	8.96
PBR(倍)	1.28	1.42
期末株価(円)	3,370	4,035

2. 取組方針

安定的に TSR(株主総利回り)を向上させていくためには、営業キャッシュフローとその源泉となる営業利益を安定的に上げ、そこから生み出される資金を生産設備等に再投資して、さらなる利益拡大に繋げていくことが重要と考えております。2023年1月に公表した中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」ではこれを踏まえて、売上高と営業利益を目標数値として取り組んでおります。また、2024年1月には、中期経営計画のより詳細な内容の開示とともに、株主還元強化を目的とした配当方針の変更や、戦略的設備投資や株主還元も踏まえた2032年1月期までのフリーキャッシュフローの配分方針等について、中期経営計画の修正として発表いたしました。

また、一般社団法人機関投資家協働対話フォーラムの「投資家との対話のお願い」で説明を求められている、経営ビジョン等、現在のビジネスモデル・収益構造・市場環境等、認識するリスクおよび対応策、成長戦略などの項目について、2024年3月に開催しました事業説明会において投資家等に説明をいたしました。

詳細は2024年1月の「中期経営計画の修正に関するお知らせ」、および2024年3月の「事業説明会」資料をご覧ください。

今後も株主・投資家との対話推進および情報開示の拡充を通じて株主資本コストを低減し、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」の修正に関するお知らせ
https://www.morozoff.co.jp/company_ir/pdf/news/news_240130_02.pdf

「事業説明会」資料
https://www.morozoff.co.jp/company_ir/pdf/05_explanation/240325.pdf

以 上